

## 2022-2023 フィンドレー大学・福井県奨学生月例報告書 9月

作成者：田中優葵乃

作成日：2022年10月9日

夏から秋へと季節が移り、朝晩はさることながら日中も冷たい風に震える寒さを感じるが増えました。比較的気温の高い日には、暖かい日差しに心地よい秋の空気を感じる日もあるのですが、翌日には一気に気温が下がり冷え込むこともあり驚いています。季節の変わり目で体を壊さないよう気をつけたいと思います。今月のレポートでは元気キッズと休日・放課後の様子についてお伝えいたします。

### 【元気キッズ】

元気キッズの授業では、フィンドレーに住む小学3~5年生の子どもたち12人が毎週木曜に大学に訪れ、日本語や日本文化を教え、交流するということを行います。これまでは、計6回にわたって行われるレギュラーセッションのための打ち合わせと準備を行い、先日初めて子どもたちと対面し、活動を行いました。今回のトピックは書道で、子どもたちに自分の名前をカタカナではどのように書くかを教え、実際に習字で書くという体験を企画しました。こちらの子どもたちとの交流は初めてだったのですが、皆書道に興味津々で、満面の笑みで書道を楽しむ様子が見られ、とても心が和む楽しい時間でした。今後のレギュラーセッションでは、子どもたちにレクレーションを通して、色や家族、動物の日本語での発音を教えたり、折り紙体験を行う予定をしています。子どもたちにとって分かりやすく、楽しい体験となるようにすることを念頭に置きながら、どのように子どもたちに日本語や日本文化について教えるとよいかを考えることは、簡単ではなかったのですが、子どもたちにとって記憶に残る素敵な異文化経験となるよう今後も一生懸命活動を行っていきたいと思います。

### 【休日・放課後の様子】

4日間のFall Breakに、こちらの友達と留学生のドイツ人の友達、日本人留学生の友達2人とテネシーのGreat Smokiesに行き、ハイキングをしました。現地で、こちらの友達の知り合い親子と待ち合わせをし、約22キロを計7時間かけて歩きました。初めての本格的なハイキングで、険しい斜面に息が上がり辛い道のりだったのですが、高さ2036メートルの山頂からの景色はその過酷さを忘れる圧巻の美しさでした。また森林の鮮やかな緑や、迫力ある滝、森の中



の新鮮な空気に、自然の壮大さを増分を感じ、リフレッシュすることができました。夜には宿泊先近くの山に行き、星空を堪能しました。人工の光が閉ざされた場所では、これほどきれいに多くの星を見ることができるのだと感動しました。また、7時間の車での移動中、アメリカとドイツの友達とそれぞれの教育制度や学校の様子、政治制度の違いや、将来の夢、恋愛など多くのことについて語り合い、異なる国の人々と交流することの楽しさや充実感を実感したとともに、そのような経験をできている幸せを強く感じました。

9月の半ばには、様々なクラブ活動の紹介イベントが行われ、私はスキューバーダイビング、ハイキングやキャンプなど自然の中で課外活動を行うクラブ、ボランティアクラブ、学内イベントを運営するクラブなどにサインアップしました。今月は1回目のミーティングが行われ、今後のアクティビティについての説明や所属するメンバーとの顔合わせがありました。あるクラブでは焚火を囲んでみんなでスモアを作って食べたり、ミニクイズ大会を行ったりしました。また、クラブ活動後に代表者の家に集まり、ピザを食べながら映画を見ることもありました。国籍、学年、出身問わず皆で楽しい夜を過ごすことができ、今後の活動が待ち遠しいです。また、フィンドレー大学には日本文化クラブというクラブもあり、日本に興味のあるこちらの学生と共にたこ焼きやおにぎり、たい焼きを作りました。日本語の授業が開講されていることもあり、日本語や日本文化、食に興味を持ってきている想像以上に多く、多くの学生と日本食を通して交流することができ、とても楽しい時間になりました。



今後も一日一日を大切に、様々なことに挑戦していこうと思います。

本報告書についてご質問、感想等ありましたら以下のメールアドレスまでご連絡ください。

[tanakay@findlay.edu](mailto:tanakay@findlay.edu)